

事務事業評価

平成 27 年度

担当課 産業政策課

基本事項	事務事業名	島原のグルメグランプリ事業				整理番号	1203
	根拠法令等					実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる	予算科目	7 款 1 項 4 目			<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規
		節 第3節 商工業の振興	事業区分	その他			

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	平成22年、テレビの情報番組の企画で、「仲よし」の島原Wスーパーポーク丼が、ご当地グルメグランプリを受賞したことから、これを記念して、同年の産業まつり内のイベントで開催。 好評を得たことから、以降毎年開催し、本年度で6回目となるもの。				計画期間	始期	平成 22 年度から	終期	平成 年度まで	
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	島原の素材で作られた料理によるグランプリを開催することにより、島原の豊かな産品を広くPRするとともに、全国に向けて発信できるご当地グルメを発掘する。									
	目的達成のための具体的手段・方法	1日当たり2万人前後が来場する産業まつりにおける併設イベントとして、上記事業を実施する。									
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	25 年度	26 年度	27 年度				
		① 出店者数	目標	店舗	10	10	10				
			実績	店舗	10	8	5				
達成率	%		100.0	80.0	50.0						
② 一般審査員数(試食客数)	目標	人	300	300	300						
	実績	人	300	300	300						
	達成率	%	100.0	100.0	100.0						
活動指標 (目的達成のために行った活動実績)	① 事業実施告知 広報しまばら、島原新聞市役所欄、市ホームページ、窓口チラシ等を活用した周知の実施	目標	回	1	1	1					
		実績	回	1	1	6					
	② 出店者募集 料理店等へ事業の趣旨を理解いただき出店を促す募集の実施。メディア展開のほか、戸別訪問による直接勧誘も行う。	目標	回	3	3	3					
実績		回	3	3	1						

事業費等の推移	年度		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	① 直接事業費(千円)		1,500	1,500	1,500	1,386	1,500	
	財源内訳	国 県 支 出 金			394	413		
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源	1,500	1,500	1,106	973	1,500	0
	② 従事職員給与費 b1×b2		1,375	1,383	1,370	1,390	1,413	0
	従事職員数(人) b1		0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.00
	職員平均人件費 b2		7,236	7,277	7,213	7,317	7,438	
事業費合計 ① + ②		2,875	2,883	2,870	2,776	2,913	0	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 地方創生が叫ばれ地域の個性が重視される昨今、それを育てることを目的とした本事業の意義は益々高まっている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 本家のB-1グランプリ等に見られるとおり民間が主催することは可能であり、むしろ理想形。しかし、島原で主催する者がいるかどうかは別問題。	C
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適應しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 島原の産物のアピールが目的であり、出店者を市内に限定している。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 極めて多くの来場者がある産業まつりの併設イベントであり、大きな注目を得ている。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 市外へのアピール等、情報の発信に改善の余地あり。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 おおむね目標を達成している。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 出店者の資格や勧誘方法等検討の余地あり。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 円滑に連携が取れており、特に支障は感じない。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 一般審査員(試食客)からは試食料を徴収しており、特に不公平等の問題は無いと考える。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	
			判定評価平均 (3点満点) A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算
			2.56

◎ 総合自己評価 (所管部署)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	開催6年目を迎えて益々好評を得られており、産業まつりの中でも最大の人気イベントとして定着している。 島原の農畜水産物の情報発信の必要性は薄れておらず、事業見直しの必要はないものと考えられる。
	(実施上の課題等) 今後は市外に対するアピールが課題となると思われる。		

・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。
 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	島原産品のPRとご当地グルメの発掘が事業目的されているが、実際に受賞商品が商品化に至っているものは少なく、本来の目的を達しているとは言い難いのではないかと。今後は、受賞を契機とした商品のPR周知及び商品化について改善が望まれる。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	△ 1,500 (千円)